

藤樹記念館通信⑦

第三十一回記念館小企画展開催中

館長 富永 雄教

現在、当記念館では、「大洲における中江藤樹のあゆみ」をテーマに小企画展を開催しております。

中江藤樹は高島郡小川村で生まれ、九歳の時、祖父に連れられて米子に移り、翌年一〇歳の時、藩主が大洲へ国替えとなったことにより祖父とともに大洲へと移りました。その後、大洲を脱藩して小川村に帰るまでの一七年間を大洲で過ごしました。子ども時代から立派な武士として活躍するまでに成長した大洲の地でのこの一七年間は、中江藤樹にとつてどのような時代であるといえるのか、そのあゆみを当時をしのぶ中江藤樹直筆の文や書、肖像画、写真等の資料で紹介しています。

本小企画展では、「大洲における中江藤樹」と
「町並みと史跡」、
「顕彰のあゆみ」の三部構成で展示しています。



①【大洲における中江藤樹】

一部では、大洲での中江藤樹の様子を知る資料として大洲藩に残る記録、役職を記した肖像画、中江藤樹の文書、明治時代に印刷された中江藤樹の逸話絵図、昭和初期の紙芝居、中江藤樹を直接指導した天梁和尚の書などを紹介しています。



中江与右衛門肖像画
(大洲高等学校所蔵)

大洲に移り住んだ藤樹は一三歳の春まで風早郡で過ごし、この間に様々な書物を読み、学びを深めました。一四歳の時から曹溪院の和尚から書や詩を習い、その後、禅僧から『論語』を習い、以後四書大全を独学で学びます。一九歳の時、郡奉行に登用され、大学啓蒙などの本を自分で書き、門人に与えました。

②【大洲の町並みと中江藤樹の史跡】

第二部では、過去・現在にわたり大洲の町並みに溶け込む中江藤樹を感じ取っていただけるよう、大洲市街の地図にゆかりの史跡の写真を配し、現在の様子や位置関係を紹介しています。大洲城内の見晴らしの良い高台に藤樹座像が置かれ、大洲での武士としての

活躍が偲ばれます。また、大洲高校には中江藤樹が実際に暮らした屋敷跡に至徳堂が建築され、庭には藤樹青年像が建てられています。



大洲小学校

大洲小学校にも藤樹像が建てられ、大洲の方々の藤樹に対する尊崇の念の深さを感じます。

③【大洲における藤樹顕彰のあゆみ】

第三部では、藩校「明倫堂」設立にかかわる資料や三代に及ぶ藤樹像の写真、明治時代に描かれた中江藤樹贈位を記念する肖像画などを展示しています。

川田雄琴は、三輪執斎から大洲に藤樹の祠堂を建立して藤樹心学を盛んにすることを委託され、一七四七年に藩校「明倫堂」を完成しました。大洲における藤樹顕彰事業は、過去に百年忌の祭礼や二五〇年祭記念事業、生誕三五〇年祭、生誕四〇〇年記念碑建立等が行われています。

また、一九〇二年には、大洲藤樹会が発足し、銅像の建設や藤樹会主催の研修会など様々な顕彰活動が行われています。

賛助会員一覧

新規賛助会員のご紹介

◎寺子屋まなざし童心塾
(長浜市南高田町)

◎田中マネジメント事務所
(高島市永田)

ご協力ありがとうございます

◎ウエストレイクホテル可以登楼

◎株式会社 大山建設

◎川島酒造株式会社

◎株式会社 桑原組

◎有限会社 宏和商事

◎税理士法人・小畑会計事務所

◎有限会社 白浜荘

◎社会福祉法人 新旭みのり会

◎ソエタ株式会社

◎株式会社 TADコーポレーション

◎鉄屋商事株式会社

◎株式会社 戸井薬局

◎とも栄 藤樹街本店

◎中村印刷株式会社

◎株式会社 中村測量設計

◎ニッケイ工業株式会社

◎八田建設株式会社

◎有限会社 馬場塗装

◎三田村印刷株式会社

◎有限会社 綿庄食品店 (五十音順)

◆賛助会員加入のお願い

ご協力いただける場合は、お近くの理事、または一面「発行所先」にお知らせください